

# 取組紹介【実習受け入れ環境整備と看護学生の支援】

医療法人誠和会 和田病院

## 看護学生が安心して実習できる環境づくりを目指して ～居心地の良いスペースを作る～



所在地：日向市向江町1丁目196番地1  
病床数：142床（一般病床30 地域包括ケア病床30 回復期リハビリテーション病床42 療養病床40）  
職員数：231名 医師 19名  
看護師 95名  
看護補助者 24名  
医療技術職 61名  
事務職 32名

### 課題・背景

採用に至る経路として、奨学金制度、就職説明会、体験受け入れからの経路がある。他にチャンスとなりえるのが、看護学校の臨地実習であった。当院では2022年度に1校増え、2校の実習を受け入れている。看護師の卵にかかわるうえで大事にしたのが、「看護の道を選んだことを後悔させない事」だった。実習は慣れない環境下で多大な緊張の中、発言し行動しなくてはならない。そんな中で、採用の分母となる看護学生が看護の道を選んでよかったと思えるよう、「実習に集中できる環境をつくる」に取り組んだ



### 目的・目標

「実習に集中できる環境をつくる」  
「臨地実習が新規採用につながる」



より良い環境で実習を受けることができる

- ①看護学生の居場所を探す心理的負担の軽減～記録スペース設置
- ②看護学生の居場所を探す心理的負担の軽減～休憩スペース設置



### 取組内容

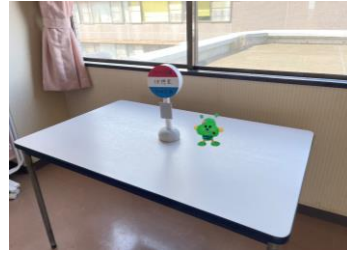
#### ●導入の実施と流れ

- STEP 1：記録スペースの確保（詰所内を整理し、医師スペースと看護スペースの間にテーブル設置）  
休憩スペースの確保（備品置き場を整理し、専用の休憩室として活用）
- STEP 2：バスの停留所を模した看板を設置し、学生の記録・休憩スペースであることを明示
- STEP 3：記録用テーブルにバスの模型を置き、窓に看護学生の氏名と受け持ち患者を明記

#### 看護学生の記録スペースの確保



#### 看護学生の休憩スペースの確保



### 成果・効果

- ①停留所に学校名、バスの窓に学生名が明記されているのをみて学生が喜んでいった。詰所に多職種がいても、自分たちの居場所にもどり記録をする姿があった
- ②看護学校から実習期間の追加（他学年実習）依頼があった
- ③2022年より「実習を経験して」「実習に行った学生から聞いて」などを就職理由にした採用（予定含む）が6名確保できた

VOICE



#### 採用面接時の声

- ・実習期間は大変だったけど楽しかった。ここで働きたいと思った
- ・友人から実習に行って、よい雰囲気・印象だったと聞いたので就職を希望した